

とうこう
投稿

我有五位养母

5人の養母

我叫 H.M, 1936 年 7 月 21 日出生在日本神户。家里有爷爷, 奶奶, 父母和我共五口人。那时候非常幸福。我出生后不久, 日本侵略了中国, 父亲去了中国。母亲没有跟父亲去中国, 只好离婚了。

父亲在中国的黑河省跟日本女性再婚。我父亲是日本军械师。1944 年我 8 岁的时候, 父亲带我到了中国, 和继母在黑河省生活。

1945 年日本战败, 父亲被带去了苏联, 在苏联被扣押了 3 年。那年秋天, 因父亲去了苏联, 继母和我一起逃难, 当时一起逃难的还有很多日本男女老少。我继母在 10 月份前后生下了一个小弟弟, 继母为了维持她自身的生活, 在中国沈阳南站把我卖给了中国人叫韩当养子, 他把钱给了继母。后来继母去了什么地方我不知道。

韩是我的第一个养父, 我叫韩○。1948 年养父母病重, 不久相继去世。

在沈阳大南关, 我被第二个养父母收养了。养父母的女儿, 曾经被日本兵强奸, 还有姐夫给八路军做手榴弹把和手枪把, 日本兵把姐夫拉到 D 村, 村东大地里, 跟很多平民一起, 用机枪扫射, 全部打死了。但他奇迹般的活下来没有死。所以养父母家非常痛恨日本人。但那家女儿为了照顾父母需要弟弟, 所以收养了我。

1950 年第二个养父母病逝。那时经近邻的卖眼药的介绍, 转给了第三家。第三家的养母把我带到河北省。我那时叫刘○。刘养父是开车的。1950 年养父母有病去世后, 生活非常苦。我成

わたし えいち えむ もう わん がつ にち にほん こうべ
私は H.M と申します。1936 年 7 月 21 日、日本の神戸で
う まれまし。祖父、父母と私の 5 人家族で、幸せに暮ら
してました。しかし私が生まれてまもなく、日本が中国に
しんこう ちち い せいこう ちち
侵攻、父は中国に行くことになりました。でも母は父の中国行
きと同行せず、離婚しました。

こく かしょう げんざい こくりゅうこうしやうほくせいふ じんじよ
父は中国の黒河省（現在の黒龍江省北西部）で日本人女
せい さいこん ぐん へいきしゅうり ぎし
性と再婚。父は日本軍の兵器修理の技師でした。1944 年私
が 8 歳の時、父が私を連れに来て、中国の黒河省で継母と暮ら
すことになりました。

1945 年日本が戦争に負けると、父はソ連に連れて行かれ 3
よくりゅう せんそう ま それん
年抑留されました。父がいない中、1945 年秋、継母は私を
連れて逃げました。多くの日本人の老若男女と一緒にの逃避行
でした。10 月ごろ継母は弟を産みました。継母は自身が生
きていくために、瀋陽南駅で私を中国人韓に養子に出し、韓
は継母にお金を渡しました。その後継母がどこへ行ったか、私
は知りません。

さいしよ ようふ なまえ
韓は私の最初の養父で、私は韓○という名前になりました。
けれど 1948 年養父母は病気でまもなく相次いで亡くなりました。
した。

たいなんかん ぼんめ ひ と
瀋陽大南関で、私は 2 番目の養父母に引き取られました。そ
の養父母の娘は、かつて日本兵に強姦されたそうです。また
むすめ おはちろ ぐん しゅうりゅうだん けんじゅう と て つく
娘婿は、八路軍のために手榴弾と拳銃の取っ手を造って
いたところ、日本兵に D 村に連れていかれ、村の東の空き地
ほか へいみん とち きしゅうそうしゃ ぜんいんころ
で他の多くの平民と共に機銃掃射されたそうです。全員殺さ
れたはずが、彼は奇跡的に生き残りましたが、養父母の家では
かたれ ぎせきてき い のこ いえ
日本人を心底憎んでいました。それでも娘は、親の面倒を見
させるために弟がほしいと、私を引き取りました。

1950 年にこの 2 番目の養父母が病気で亡くなると、私は近
じよ めぐすりう しやうかい
所の目薬売りの紹介で、3 番目の家に引き取られました。私
はその 3 番目の養母に連れられて河北省に行き、劉○という

了乞丐。

1951 年我在街头流浪的时候，被第四个养母领养，起名叫乔○。但是 1952 年第四个养母也因病去世了。

我一直当乞丐，1953 年我被第五个养母收养，起名叫邓○。从 1953 年到 1959 年，我一直跟养母在一起生活。

我一共有 5 位中国养母。她们对我很好。那个时候我一直处于喜，怒，哀，乐，之中。



在残酷的生活中我从幼儿成长到青年，再到老年，我从来没有忘记他们给予我的恩惠。我从心里感谢她们！我永远在心中铭记这 5 位伟大的母亲！

我深深地感受到了战争的残酷和平的珍贵！中国残留孤儿希望日中两国永远和平繁荣。

※编辑附注：据说第二到第五的养父母家虽然很穷，还是收留了他。有个房子住，他就很高兴了。后来离开家后作了建筑方面的工作。回到日本永住是 1997 年。

名になりました。養父劉は運転手^{うんてんしゅ}でした。1950 年その養父母も病気で亡くなると、生活が非常に苦しくなり、私は物乞い^{ものご}をして命^{いのち}をつなぎました。

1951 年、町^{まち}を流離^{さすら}っていると 4 番目の養母が私を引き取り、喬^{きょう}○と名付けてくれました。けれども 1952 年この養母も病気で亡くなってしまいました。

私はずっと物乞いをしていましたが、1953 年、5 番目の養母が私を引き取ってくれ、鄧^{とう}○と名付けられました。1959 年までずっと一緒^{いっしょ}に暮らしました。

こうして私には合わせて 5 人の中国の養母がいます。皆私によくしてくれました。共に過ごした日々の中で、私は、喜びも、怒りも、悲しみも、楽しみも、すべて味わいました。

辛い人生でしたが、私は幼い時から、青年になり老人になっても、彼女たちへの恩を忘れたことはありません。心から感謝^{かんしゃ}しています！ 5 人の偉大な母たちは永久^{えいきゅう}に深く私の心^{こころ}に刻まれています！

戦争^{せんそう}の残酷^{ざんこく}さと平和^{へいわ}の尊^{とうと}さを、私は深く身をもって感じました。中国残留^{ざんりゅう}孤児^{こじ}の私は、日中両国^{りょうこく}がいつまでも平和で繁栄^{はん}するよう、心から願^{ねが}っています。

※編集者注：2～5 番目の養父母はどの家も貧しかったが、自分^{ぶん}を引き取って屋根^{やね}のあるところで過ごさせてくれただけでも嬉^{うれ}しかったそうです。家を出てからは建築^{けんちく}の仕事^{しごと}に就き、日本^{にほん}に永住^{えいじゅう}帰国^{きこく}したのは 1997 年になってからだそうです。